

Avery Dennison™

SPF 1000 Surface Protection Film

特殊フィルム SPF1000 サーフェイスプロテクションフィルム

特長

- 柔軟性の高いポリウレタンフィルムで曲面にも施工可能
- 再剥離可能な強粘着型の粘着剤を採用
- 高い透明性を実現
- 飛石による傷、虫、ほこり等から塗装面を保護

製品構成



表面基材:
203 μm
ポリウレタンフィルム



粘着剤:
アクリル系強粘着型
(適切な剥離方法により再剥離可能)



剥離材:
#90 StaFlat 紙



耐候性:
最長4年間
(弊社試験の結果に基づき
予測される年数であり、
保証年数ではありません)

適用被着面:
平面、単純な曲面、
複合曲面

*印刷・加工方式

カッティングプロッタによる加工
(刃先角度は60°を推奨いたします)

アプリケーション

- 自動車
- 船舶
- 建築物

使用目的

Avery® SPF1000 Surface Protection Film は、自動車のクリアコート塗装や通常の表面処理塗装用に設計した粘着剤を使用した、非常に柔軟性の高いポリウレタンフィルムです。

自動車や船舶、建築物等の保護フィルムとして最適です。

物理特性

基本情報

厚み(表面基材)		203 μm
Gravelometer (ストーンチップテスト)	SAE J400	裂け目なし Minimum rating 3C
引張強度		34-69 N/mm ²
伸び		> 250%
粘着力(15分)	ASTM1000 (ステンレス)	525 N/m
	(ゲルコートガラス繊維)	455 N/m
	(自動車用 OEM 塗装)	455 N/m
粘着力(24 時間)	ASTM1000 (ステンレス)	735 N/m
	(ゲルコートガラス繊維)	578 N/m
	(自動車用 OEM 塗装)	543 N/m
保存期間	20-25°C、50-55% RH 環境下	1 年
耐候性 **	屋外垂直面での暴露	最長 5 年間(プリントなし)

使用温度範囲

施工時の温度	10 °C ~ 32 °C
使用温度	- 46 °C ~ + 66 °C (一般的な環境ならびに気候において使用可能な温度範囲)

耐薬品性

大半の石油由来のオイル、グリース、脂肪族溶剤による影響なし
大半の弱酸性物、アルカリおよび塩による影響なし

大切なお知らせ

物理特性における情報は信頼性の高い試験に基づいて行われております。なお、本書に記載されている数値は標準値であり、保証値ではありません。

購入者はその使用目的に関わらず、製品の適合性を検証するようお願いいたします。

また記載の技術データは、予告なしに変更されることがあります。

保証

Avery® ブランドの製品は、入念な品質管理のもとで製造されており、その材質および仕上がりにより欠陥がないことを保証いたします。販売時に、不具合が見つかった場合には無償にて交換いたします。いかなる状況においても、当社の購入者に対する債務総額は欠陥製品代金を上回ることはありません。販売員、販売代理人または代理店には、これらの保証を与えたり、または意義を唱えたりする権限は一切ございません。

Avery®ブランドの製品は、当社の販売条件の規約の1つでもある上記の条件を順守したうえで販売しております。また必要に応じ、当社規約の写しをご用意いたします。

**耐候性/再剥離性

耐候性および再剥離性は、北アメリカ地域での気候条件をもとにしております。実際の性能寿命は、被着体の状態、使用環境ならびに製品のメンテナンス状態によって異なります。例えば標識が、北半球の南部または南半球の北部などの高温地帯や、産業汚染地域または高地にて長時間使用される場合には、製品の耐候性は低下いたします。

*本製品はほとんどのプリンターとインクの組み合わせに対応しております。テストの上、ご使用ください。

***本資料の印刷時点では、情報を入力することができておりません。

試験方法

寸法安定性

150 x 150 mm のアルミニウムへサンプルを貼付し、+ 70°C、48 時間加熱後のサンプル収縮を測定。

粘着力:

ステンレスまたはフロートガラスへサンプルを貼付し、24 時間後に 180° の角度で本製品を剥がした場合の粘着力。初期値の粘着力は、サンプル貼付から 20 分後に測定。

可燃性

アルミニウムへ貼付したサンプルをガスバーナーの炎にて 15 秒間燃やす。炎をフィルムから離してから 15 秒以内に鎮火していることを確認。

使用温度範囲:

ステンレスへ貼付したサンプルを高温および低温にさらした後、室温に戻す。室温に戻してから 1 時間後、サンプルの劣化の有無を検査。
注記: 溶剤、酸性物質、染料といった化学物質が残留した状態で製品を長時間露出することにより、製品に想定外の劣化が見られることがあります。

耐薬品性:

テスト用パネルへ添付後 72 時間経過したサンプルを、試験用の薬品へ一定時間浸す。サンプルを薬品より取り出した 1 時間後にサンプルの劣化状態を検査。

耐食性:

アルミニウムへ貼付したサンプルを 35°C の塩性ミスト(塩分 5%)にさらす。暴露後、サンプルが剥離されたアルミニウムへ錆の痕跡がないか検査。